

香川県におけるタクシー利用利便性向上の取組

寺師大祐

ハロータクシー代表取締役

香川県タクシー協同組合運送委員長

香川県タクシー利用利便性向上協議会

香川タクシーアプリの紹介



「香川Taxi」アプリの概要

- 高松市内の事業者が連携し、香川県内で使える地域アプリを新規導入
- R7.4～ 高松交通圏の法人15社(249両)、個人(8両)、計257両で本格運用開始
- 香川県内で対応エリア・対応車両拡大中



「香川Taxi」アプリ導入の背景と目的

導入背景(課題)

- ・ 配車の非効率性と機会損失 ・ ・ 小規模事業者によって構成、個々では効率的な配車が困難
- ・ ドライバー不足と高齢化 ・ ・ ・ 若年層が参入しにくい労働環境、給料
コロナ禍後の急速な需要急回復に対し供給が追いついていない
- ・ IT ・ デジタル化の遅れ ・ ・ ・ ・ 配車システムのデジタル化やアプリ導入が進んでいない

導入目的(課題解決)

- ・ 配車の最適化と機会損失の低減 ・ ・ 共同配車（事業者横断型）の仕組みにより最適な車両を検索
配車室経由のため、電話注文や時間指定予約の管理が可能
繁忙時間帯における需要への対応力を強化
- ・ 実車率向上 ・ 事業者の収益改善 ・ ・ 空車時間や空車走行の削減により、実車率が向上
生産性の向上と収入安定化
- ・ 配車室の負担軽減と人件費削減 ・ ・ 電話受付業務の軽減による業務効率化
コールセンター費用の削減によるコストダウン
- ・ イメージ刷新と若年層採用促進 ・ ・ IT化の推進により、新人ドライバーが早期に業務に習熟可能
人材の即戦力化が可能に

対応車両数の拡充に加え、高松市以外のエリアへの展開も予定。

地域アプリと大手アプリの共存を ・ ・

それぞれの強みを活かしながら、新たな需要の発掘と供給力の最大化を図る。

「観光の足」確保に向けた タクシー利用利便性向上実証実験の紹介



実証実験に至る背景

背景①

交通

- 交通結節点におけるタクシー等の二次交通へのアクセスに課題
- タクシーアプリの地方部での普及の遅れ、タクシー実車率の低さ

背景②

観光

- 国内外の観光需要が急速に回復
- 人口減少が進む四国にとって、観光は、地方創生の切り札として期待される重要な分野
- 二次交通の確保を含む交通利便性等に課題

四国への来訪者が安心・安定して二次交通を利用できる環境を整えたい

タクシーの利用の利便性を高める取組

乗り継ぎ円滑化サービス

手配円滑化サービス

R7.8～香川県内で実証実験スタート

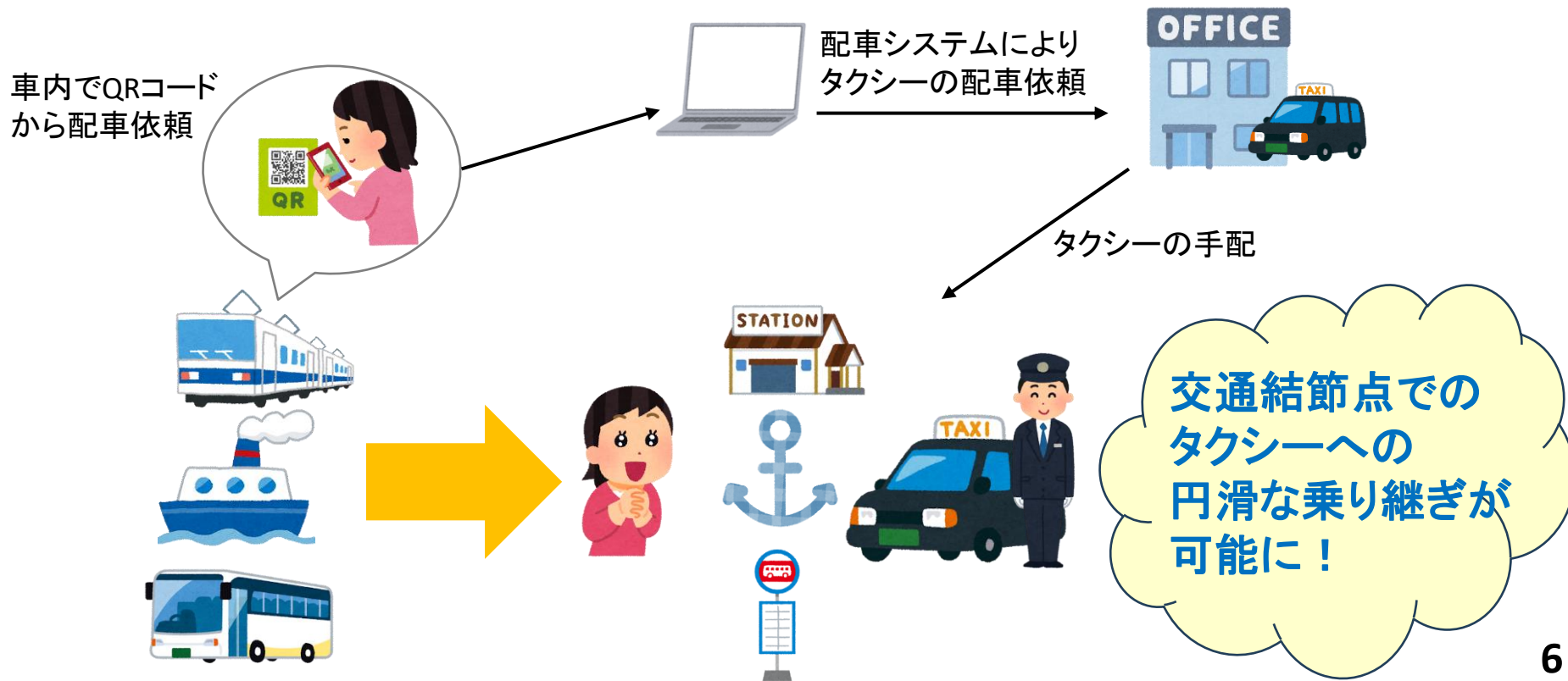
実証実験の内容①

乗り継ぎ円滑化サービス

主要交通結節点においてタクシーへの乗り継ぎの円滑化のため、

- ・乗車中の公共交通機関(JR特急列車、高速バス、旅客船)の中から、
 - ・ウェブフォーム等で
 - ・下車後の交通結節点で乗車するタクシーを
- 手配するサービス

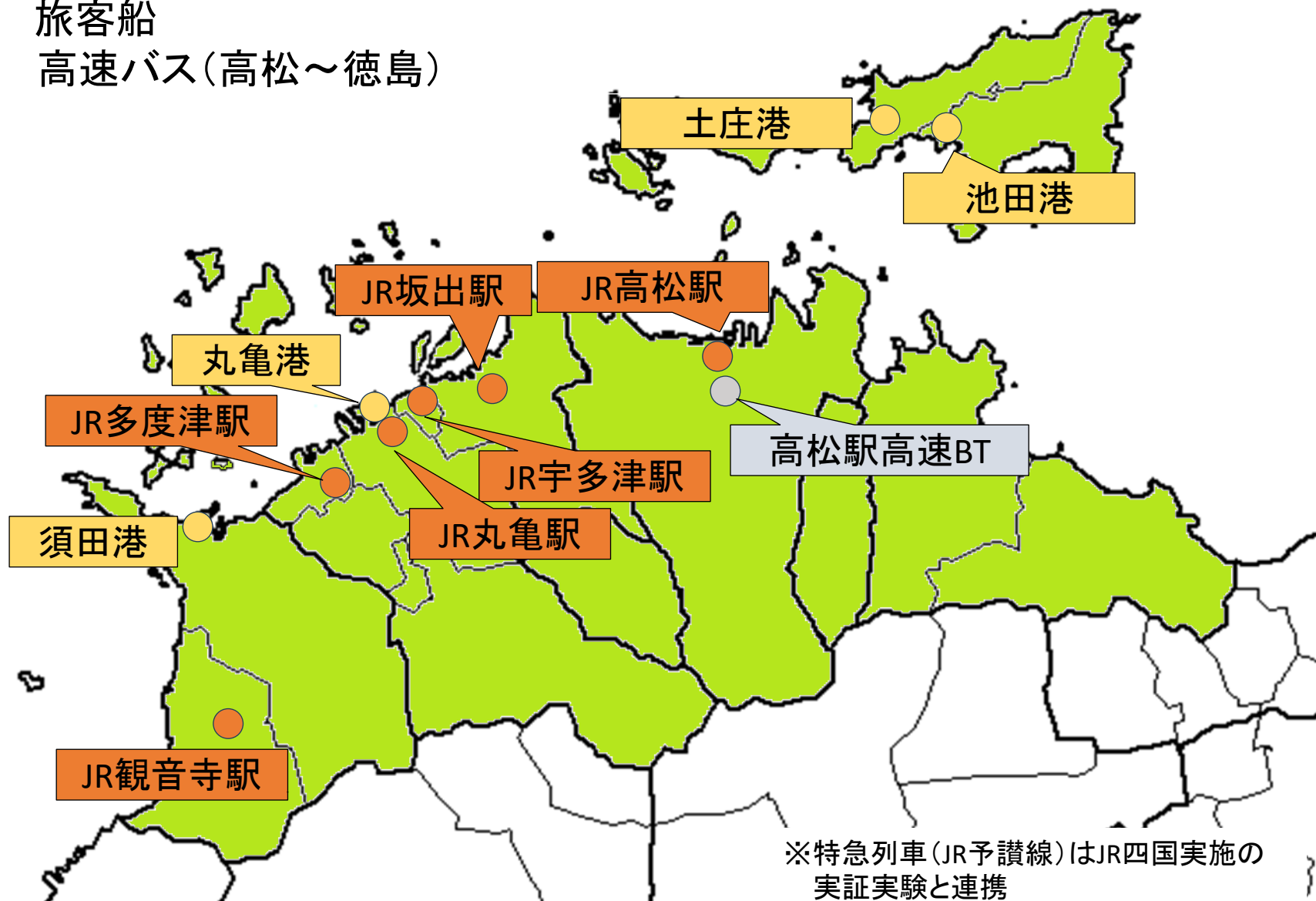
※高松市内は香川Taxiアプリを活用



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

乗り継ぎ円滑化サービスの対象地点

- 特急列車(JR予讃線)
- 旅客船
- 高速バス(高松～徳島)

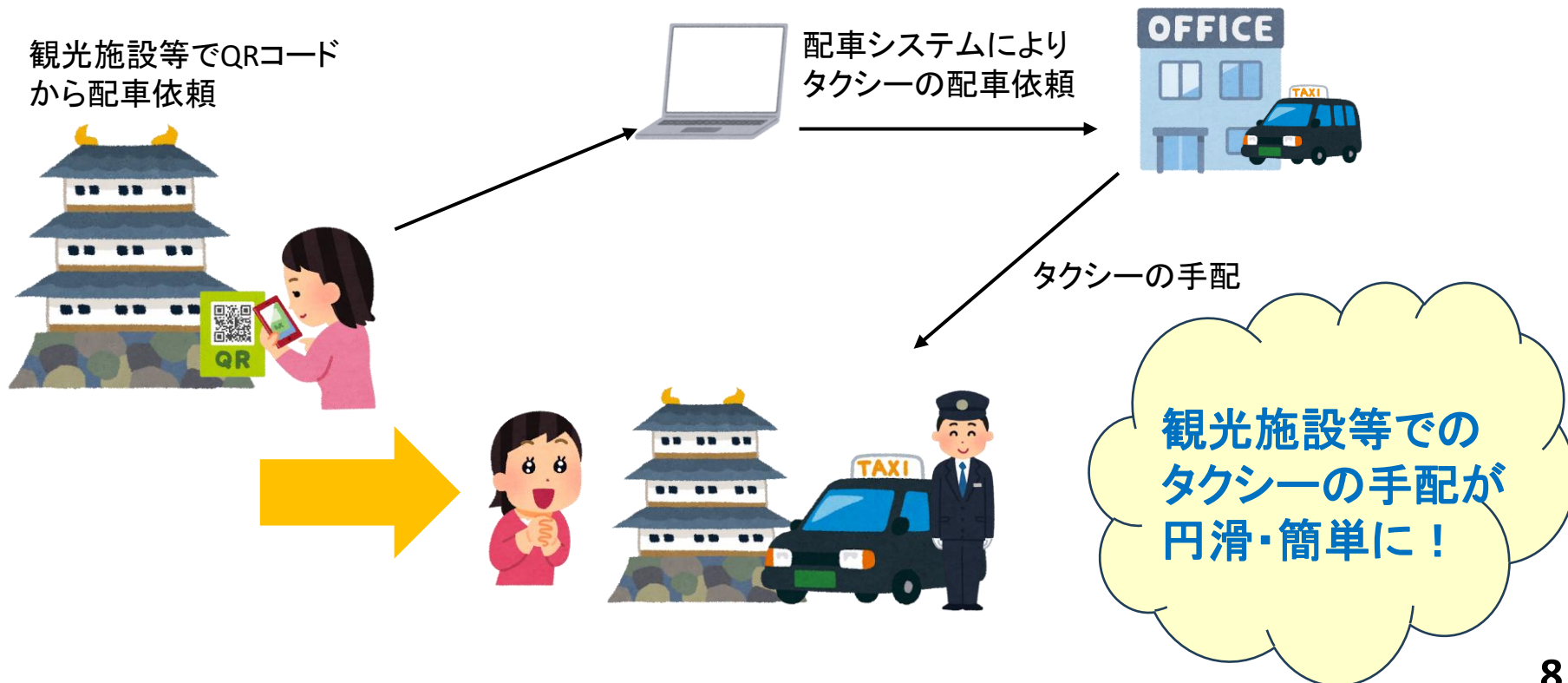


手配円滑化サービス

周遊観光の促進の観点から面的な移動手段の確保のため、

- ・観光施設及び観光施設近隣の交通結節点において、
 - ・ウェブフォーム等で
 - ・当該地点で乗車するタクシーを
- 手配するサービス

※高松市内は香川Taxiアプリを活用



手配円滑化サービスの対象地点

●観光施設

●交通結節点



実施主体：香川県タクシー利用利便性向上協議会

＜構成員＞

輸送モード

香川県タクシー協同組合
四国旅客鉄道株式会社
高松琴平電気鉄道株式会社
一般社団法人香川県バス協会
香川県旅客船協会
高松空港株式会社
日本航空株式会社
全日本空輸株式会社

観光

公益社団法人香川県観光協会
一般社団法人四国ツーリズム創造機構

経済関係団体

四国経済連合会
一般財団法人百十四経済研究所

有識者

宮崎 耕輔(香川高等専門学校)(◎)
暮らしの交通株式会社

行政

香川県

令和7年4月10日設立

◎：会長

事務局：香川県タクシー協同組合

交通事業者だけでなく、
地元関係者が幅広く参画

「観光の足」の確保に着目

⇒既存の香川Taxiアプリとの役割分担
観光施設までのアクセス不便地域の改善

ウェブフォームからの申込み

⇒アプリダウンロード不要・記載事項の厳選により、
配車の手間を可能な限り低減

地域の多様な関係者の参画

⇒交通への幅広い協力関係の構築、共創の可能性拡大
多面的な周知・広報が可能

期待される効果

面的な周遊観光の促進

交通結節点と観光施設、観光施設と観光施設をつなぐことにより、同じ時間でより多くの観光を楽しむ

タクシー配車の効率化

供給制約が緩和され、移動手段の確保が容易になる
(タクシーの実車率も向上し持続可能に)

エリアの魅力向上 公共交通が便利な地域に

公共交通の利用者の増加

公共交通を使った観光がしやすくなることで、自家用車ではなくタクシーを含む公共交通を使っでの来訪を促進

観光客の増加

交通不安が解消され、満足度の高いおでかけができ、選ばれる／また訪問したい地域に

